

憲法Ⅱ

科目ナンバリング PUL-102

必修 2単位

小川 有希子

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、憲法を初めて学ぶ法学部の学生を対象とします。憲法Ⅱでは、「人権」を扱います。主として、講義形式で行いますが、不明な点や納得できない点をそのままにせず、積極的に取り組んでください。

2. 授業の到達目標

①憲法が保障する基本的人権について理解する。

②人権保障の考え方が社会生活のなかでどのように実現されているか、時事問題や身近なできごとと結びつけて考えたり説明したりすることができる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(3回) 30%

期末試験 70%

4. 教科書・参考文献

教科書

斎藤一久・堀口悟郎編 『図録 日本国憲法』 弘文堂

参考文献

高橋和之 『立憲主義と日本国憲法 第4版』 有斐閣

芦部信喜著、高橋和之補訂 『憲法 第7版』 岩波書店

5. 準備学修の内容

[予習]30分(目安)

①教科書の該当箇所を読み、太字の用語をノートにまとめる。

②教科書の該当箇所を読み、出てきた判例の概要をノートにまとめる。

[復習]60分(目安)

①教科書の○×問題を解き、誤った記述については、正しく訂正できるようになる。

②授業で取り扱った判例について、なぜその判例が重要なのか、判旨のどの部分が特に重要かをノートにまとめる。

③授業の最後に出題する問題を、教科書等を参照しながら自分で解く(次回の授業で答え合わせをする)。

④授業で教員が示した憲法の基本的な考え方と自分の考えと照らし合わせ、同じところ、異なるところを確認する。

⑤不明な点や納得できない点が残っている場合は、それをノートに書き出し、試験までに解消できるよう努める。

6. その他履修上の注意事項

授業には、指定教科書のほか、必ず『六法』を持参してください。

7. 授業内容

【第1回】 教科書の項目に沿って進める。[]内に項目番号を示した。

人権の射程[2]

【第2回】 新しい人権[3]

【第3回】 法の下での平等[4]

【第4回】 思想・良心の自由[5]

小テスト1回目

【第5回】 信教の自由[6]

【第6回】 表現の自由・総論[7]

【第7回】 表現の自由・各論[8]

【第8回】 集会・結社の自由[9]

小テスト2回目

【第9回】 学問の自由と大学の自治[10]

【第10回】 職業選択の自由[11]

【第11回】 財産権[12]

【第12回】 生存権[13]

小テスト3回目

【第13回】 教育を受ける権利[14]

勤労の権利・労働基本権[15]

【第14回】 参政権と選挙制度[16]

刑事手続上の権利[17]

【第15回】 まとめ